

第三種郵便物認可

技術提案

多様

国土交通省は15日、直轄工事の調査・設計から管理に至る一連のプロセスにおける課題について話し合う「発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会」の初会合Ⅱ写真Ⅱを開いた。初会合で国土交通省は技術力や企業を選定し、価格などを交渉する「技術提案競争・交渉方式」



初会合Ⅱ写真Ⅱを開いた。初会合で国土交通省は技術力や企業を選定し、価格などを交渉する「技術提案競争・交渉方式」

設減容化

環境省

物の国代行政処理業務（広野町）における仮設減容化処理施設敷地造成工事の一般競争入札を公告した。対象は県内に本

維持・修繕工事は小規模な補修箇所が点在しているなどの理由でコストが割高になったり、設計変更が多いなどの課題が指摘されている。施工実態が適切に反映されるよう、維持補修に係る積算基準の新規制定や、既存の積算基準の見直しなども検討する予定だ。

来月1日に適用開始

道建協の標準見積書活用

日本道路建設業協会（道建協）は、法定福利費の内訳を明示する「標準見積書」とその活用方法を定めた。会員企業に元請と下請が混在する状況などを踏まえた対応で、8日の常任理事会で決定し、11日付で通知した。適用開始日は12月1日に設定したが、それ以前の使用も可能としている。

会員企業の今後の見積書書額は①元請は1次下請に対し、適正な法定福利費を明示した見積書の作成・提出を促す②1次下請は元請に適正な法定福利費を明示した見積書を提出し、元請はこれを

22日に土研技術発表会

仙台でショーケース13

土木研究所主催（建設コンサルタンツ協会東北支部共催）の「土研 新技術ショーケース2013 in 仙台」が22日、仙台市青葉区の仙台国際センターで開かれる。東北地方整備局・全国建設業協会・日本建設業連合会東北支部など後援。社会資本の整備や管理に携わる技術者に対して得られた土木研究所の新技術を紹介する。展示・技術相談コーナーは午前9時半から午後6時まで。実際の技術に向けて個別の技術相談も受け、午前10時から講演。建へ相馬市の対応」と題した特別講演も行う。

安藤東大教授が講演

地域材の可能性探る

伊達クラフトデザインセンター（アーツ・シー・ツー）有責任事業組合、略称「DC2」は30日午後1時半から、伊達市の保原小学校で「木を活かす新しいビジネス発信！木づかい啓発セミナー」を開催する。木質材料学、木質構造学が専門の安藤直人東京大学名誉教授の講演を受ける。本県の地域材を使った復興、県民の雇用確保、若者の技術教育、全国・世界へ向け新しい商品価値の創造を目指す。



安藤直人東京大学名誉教授の講演を受ける。

武田土建工業が候補

北校舎の1期耐震改修

若松製糖線と県道湯川大町線の交差点西側に当たる武田土建工業が落札候補となった。応札2社。RC造3階建て延べ3081平方メートルの鉄骨

佐藤建設が落札

下郷町パークゴルフ場整備

下郷町はこのほど、次の工事を入札した。▽パークゴルフ場整備（2工区） 佐藤建設 落4168万5000円 大川ふるさと公園内、工期は26年3月24日。

26年度

門田

会津農林事務所が26年度から、基礎整備門田第1は、26年度から、度に着手した経営基盤整備門田第1は、26年度から、

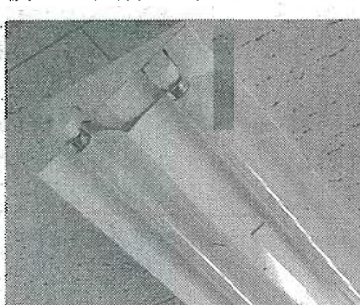


会津農林事務所が26年度から、基礎整備門田第1は、26年度から、度に着手した経営基盤整備門田第1は、26年度から、

有紀が本格営業開始

コストを大幅削減

有紀（本社：会津若松市北町上荒久田字宮下63、橋本保社長）は、PET樹脂を特殊加工した高性能天井照明用反射板「ハシモトZ」の本格営業を開始した。同反射板は、古河電気工業が製造した素材を日本CSS（本社：東京都中央区）が天井照明用反射板として新たに開発した高性能照明反射板で、



高性能天井照明用反射板「ハシモトZ」の本格営業を開始した。

可視光の全反射率99%以上、拡散反射率95%以上の優れた光学特性を持つ。蛍光灯や冷陰極管などあらゆる照明器具への設置が可能で、経年劣化の

仮設減容化処理施設整備層周知する取り組みなども進める。なお、標準見積書めぐっては、元請団体や専門工事業団体が参加する国土交通省の社会保険未加入対策推進協議会が、9月26日に一斉活用を開始を申し合わせた。

「震災対応から生活再建へ」相馬市の対応」と題した特別講演も行う。建設コンサルタンツ協会のCPD、全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定プログラム。参加無料だが土木研究所HPから事前の申し込みが必要。問い合わせは同研究所技術推進本部029(879)6800。

同センターの代表を務める白井木工所（伊達市）の白井貴光社長がこのほど、福島建設工業新聞社を訪れ、セミナーへの参加を呼びかけた。希望者は同センターHP（http://dc2.co.jp）に掲載の申込書を事務局にFAXする。問い合わせは電話0242-23088またはFAX0242-23088まで。

同センターは、全国の木工機械・家具・建具業界関係者による勉強会・グリーンサーキットで学んだ有志4社が設立した木質構造学が専門の安藤直人東京大学名誉教授の講演を受けた復興、県民の雇用確保、若者の技術教育、全国・世界へ向け新しい商品価値の創造を目指す。

コスト削減と照度アップを実現する天井照明用反射板。原因とされる紫外線に強い特殊アクリル加工も施し耐年数15年以上を実現。照度調査でも通常の蛍光灯1本500ルクスに同反射板を装着した場合の照度は660ルクスで32%、2本タイプ830ルクスでも1050ルクスと26%の照度アップが確認されている。天井面積30坪以上、天井高2.5m以上、蛍光灯9灯以上の部屋に同反射板を設置した場合、室内の照度を維持しながら、電気代コストを5割以上も削減する。施工法も蛍光灯本体部に取り付けるだけの簡単な施工で、施工後も特別な維持作業が不要。コスト削減とCO2対策、社員の仕事環境を向上させる照度アップに威力を発揮する。詳しくは同社0242(39)23088まで。